

全国瞬時警報システム(Jアラート)警報時の対応について ～学校の対応編～

事前対応

- ・「全国瞬時警報システム(Jアラート)警報時の対応について～行動編～」等を参考に、児童生徒に対しJアラート警報時の行動や体勢等を指導する
- ・Jアラート警報時の行動、学校の対応について、保護者に周知する

授業中断等の基準： Jアラートによる緊急情報(ミサイル発射)の発進時

- ・始業前： 生徒に対し、避難や自宅待機を指示する
- ・授業中(放課後)： 授業(部活動等)を中止し、生徒に避難行動を取らせる

授業中断等の判断について(参考)

北朝鮮からミサイルが発射された場合、極めて短時間(1,600kmほどの距離を約10分)で飛来することが予想されるため、中断や登校時間を遅らせる等については速やかな判断が求められる。

ミサイルが発射された場合

始業前

- ・登校前の生徒は、自宅待機させる(事前指導)
- ・授業開始を遅らせる等の措置を取り、生徒、保護者に通知する

登下校中

- ・登下校中の生徒は近くの建物に避難させる(事前指導)
- ・電車やバス(乗合バス)に乗車している場合は、事業者の指示に従う(事前指導)
- ・スクールバス乗車中の場合は、バスを降り近くの建物に避難するか、バスに乗車したまま比較的安全な場所(地下やトンネル等)に移動し、避難姿勢をとる(事前指導)

生徒在校時

- ・教育活動を中止し、生徒を速やかに屋内(校舎等)に避難させる
- ・屋内(校舎、寄宿舎等)にいる場合は、爆風により窓ガラス等が吹き飛ぶおそれがあるため、できる限り窓から離れさせる



放課後(生徒が残っている場合)

- ・課外活動(部活動等)を行っている場合は中止し、生徒を屋内(校舎等)に避難させる

ミサイルが通過した場合

- ・安全が確認でき次第避難行動をやめ、教育活動等を再開する
- ・引き続き、テレビやラジオ、インターネット等で情報を収集する